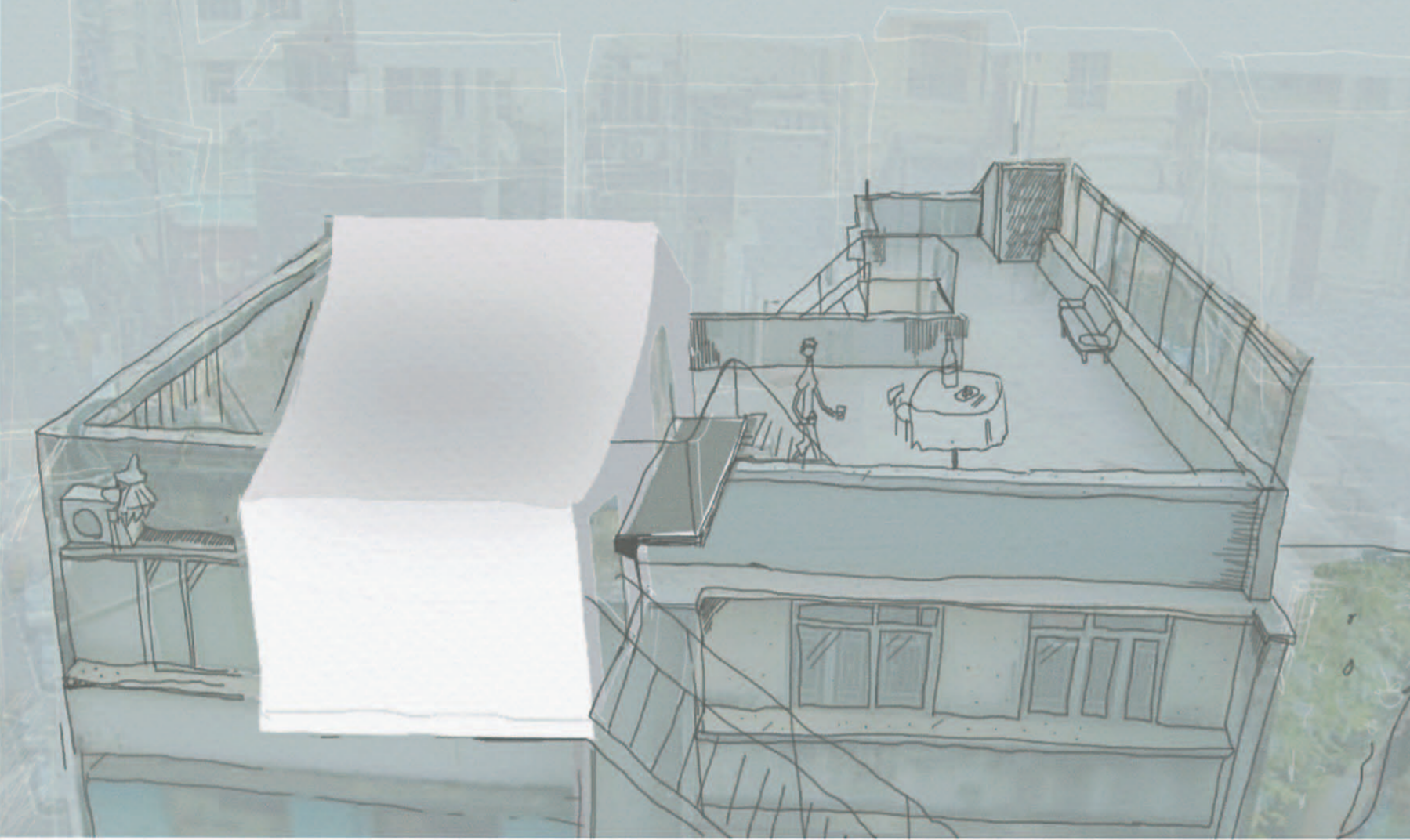


# 放浪の家



B: 屋上の家 星空を独り占め。



C: 淀川塔の家 都市から少し離れた河川敷での一服。



## Concept

40坪のシェアハウスを街に分散させる。

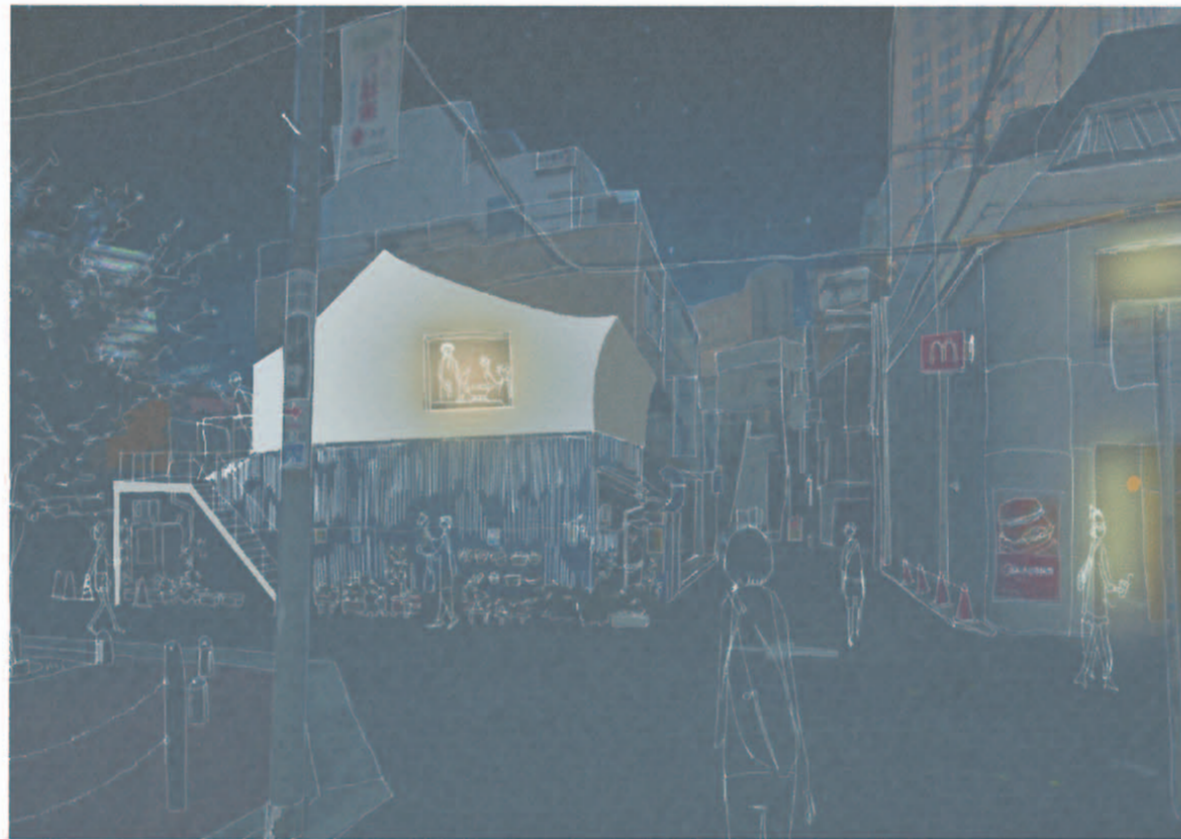
入居者が集まれる母屋を中心に

住み手は各部屋を自由に行き来し生活を送る。

これは、一つの場所に住み続ける従来の暮らしではなく、これからの社会における住まい方の提案である。

また、街に分散した小さな家は、一つの世界観を持ち、つながりを感じさせる。

つながりの中に、にじむ住まい手の生活は、地域の人々にとって、家と暮らしを再考するきっかけとなる。



A: 母屋のパーズ 母屋は家の軸であり、3人が集うための場所。



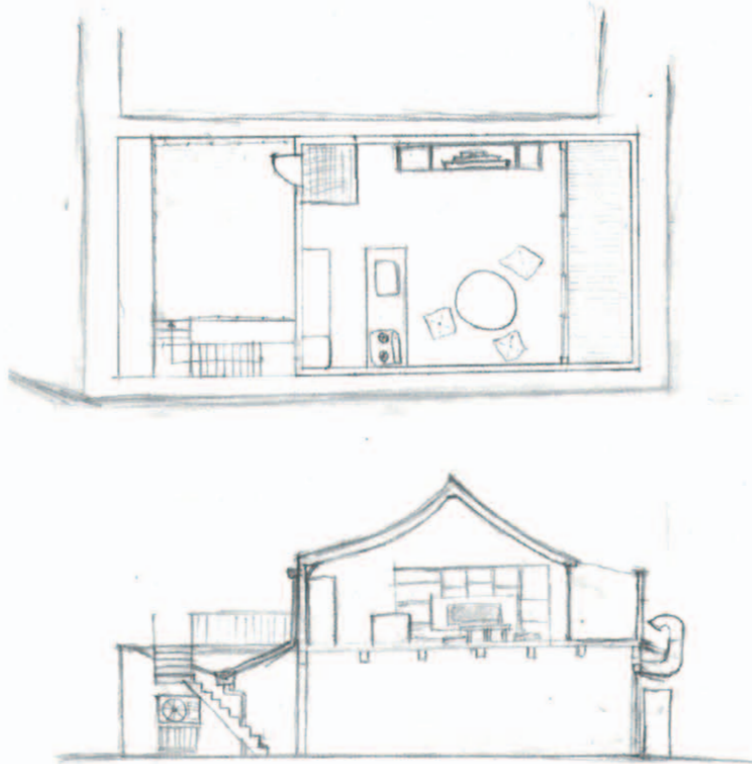
D: 本屋のとなり 3人の好きな古本屋。本屋のとなりは3人の本村

- 母屋の家
- 屋上の家
- 淀川塔の家
- 本屋のとなり

## 母屋とその他の建築の関係

本計画は入居者が集まり交流できる場所としての母屋と、それぞれ特徴的な場所・環境に応じて計画される部屋となる建物からなる。入居者はその特徴的な建物をその時々状況によって選択して過ごす。その流動的な住まい方に安心感や安定を与える役割を果たすのが母屋となる。

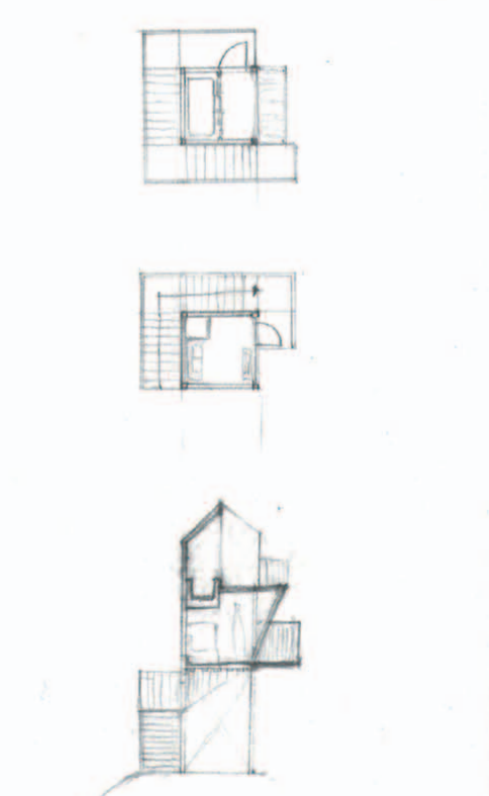
小学校の幼馴染3人組。



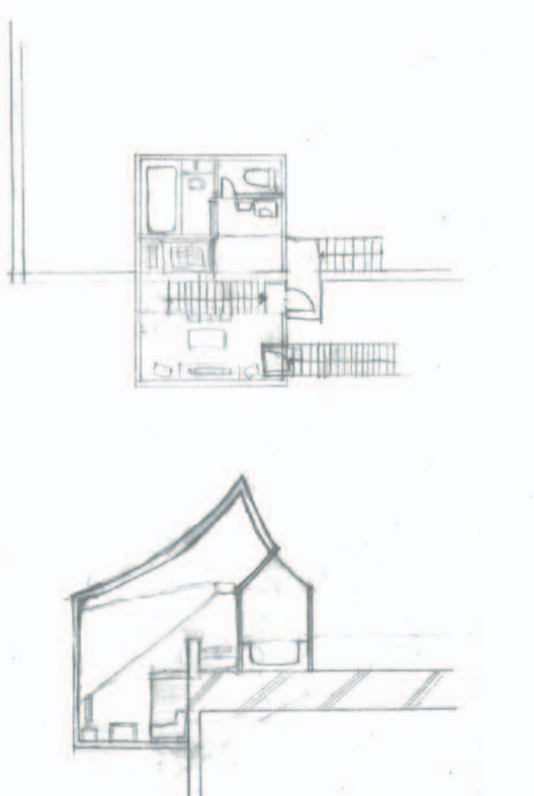
母屋の図面 S=1:100



本屋のとなりの図面 S=1:100



淀川塔の家の図面 S=1:100



屋上の家の図面 S=1:100